

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
 (事務局：全国私立学校教職員組合)
 No.17 2021年10月12日(火)

「全国父母懇・私学助成をすすめる会交流集会 オンライン大会」 その2

11分散会に18都道府県から23本のレポート それぞれにドラマあり 涙と感動の分散会

全体集会終了後、参加者は11の分散会に分かれて、各県・各学園のレポートをもとに討論、情報交換、交流を深めました。困難さを共有したり、同じ思いに涙したり、元気をもらったり、と、分散会もオンライン開催ながら「全国交流集会」の醍醐味を感じる場面となりました。参加者は秋の運動に向けて、持ち帰るお土産がたくさんになりました。

	タイトル	県	所属	レポーター	
私学助成運動	1-①	「通信制高校の現状 私学助成（父母目線）の重要性」	広島	父母懇	松田尚美さん
		「昨年の青森県私学をそだてる会の活動について」	青森	柴田学園高校	芹川巧さん
	1-②	「神戸弘陵育友会で「私学助成委員会」立ち上げ！」	兵庫	すすめる会	山下誠一郎さん (友井基浩さん)
		「埼玉県私立学校コロナウイルス流行による学費等への影響アンケート」	埼玉	すすめる会	垣内孝介さん
	1-③	「2021みやぎの私学助成運動の展開」	宮城	すすめる会	工藤 和哉さん
		「コロナ禍における署名活動 ～私たちが求められること求めたいこと～」	大阪	秋桜高校	西村 重樹さん・田原 裕子さん・北野 貴子さん
	1-④	「コロナでもあきらめない！私学助成署名取り組み」	東京	大東学園東和会	新沼敦子さん・井上絵里子さん
		「前年度を上回る集約数を実現させた岩手の取り組み」	岩手	すすめる会	千葉幸浩さん
父母懇運動、父母共同のとりくみ	2-①	「2学年普通科のこの間の取り組み」	神奈川	旭丘高校	小林一美さん
		「コロナ禍でも続く父母懇活動～“継続”と“挑戦”～」	愛知	東海中高	北村 雅臣さん・和田 啓子さん・井口 藍さん
	2-②	「千葉県父母懇のコロナ禍における活動紹介」	千葉	千葉父母懇	宮澤春代さん
		「愛知 サマーセミナーへの想い」	愛知	父母懇	久木田泰子さん
	2-③	「コロナ禍における山形県私学をそだてる会の活動」	山形	そだてる会	板花 みな子さん
		「やればできる！連日発行（砂川）」 「書きたいことを好きに書いたらこうなりました（吉川）」	愛知	普高校	砂川和輝さん・吉川文人さん
	2-④	「こんな時だからこそ、『つながっ TEL』」	新潟	父母の会	坂井雅博さん・笹川真理子さん
		「私学助成とすすめる会の結成とその後の取り組み」	佐賀	すすめる会	古賀千花子さん
	2-⑤	「岡山父母懇活動の未来希望図」	岡山	父母懇	藤井真里さん
		「2019全国父母懇miniで得たものとこれから」	京都	すすめる会	鈴木潤さん
	「私学助成運動と生徒会活動」	北海道	北星女子	菊池誉さん	
教育・子育て	3-①	「私は、ここへ来ると褒められるかうれしい。～三者でつくる父母懇の意義・使命について考える～」	愛知	父母懇（享栄高校OB父母）	後藤和典さん
		「子育ての共同で、大人たち育ち！」	神奈川	旭丘高校	後藤愛実さん
	3-②	「関東ブロック父母懇子育て講演会を終えて」	東京	父母懇	岸本 卓さん
「第9回熊本高校生フェスティバル（オンライン）を起点とした私学助成運動の拡大」		熊本	熊本中央高校	中野秀一さん	

左は、今回のオンライン大会分散会の一覧表です。9月10日からの呼びかけにも関わらず18の都道府県が23本のレポートを準備してくださいました!!

全国署名をはじめとした私学助成運動のとりくみについて討論・交流する分野、父母懇活動と父母共同のとりくみについて討論・交流する分野、子育ての悩み、生徒の成長について討論・交流する分野、と3つの各分野に2～5の分散会を設定。各分散会に2～3のレポートを配置し、テーマごとに10～20名に分かれて参加しました。

高校生も参加し、街頭署名での呼びかけを交流する議論もあれば、高校生が燃えて、教職員と父母の本気を引き出したとりくみの報告、また、議会提出にまで高校生が参加してすすめるとりくみなどを知る機会にもなりました。

また、活動に参加しはじめたときの思いが語られる中で、父母がつながることの意味やその活動の場である父母懇が大人の「居場所」であることを再確認する討論もありました。この活動への同じ思いに涙する分科会もありました。

活動の大きさもちろんですが、それにかかわらず、お互いの県のとりくみをリスペクトし、そこから学び合い、この秋の運動の力にする会となりました。

＜「分散会」について 参加者の感想 より＞

- ・世話人が増えないと悩んでいましたが、千葉はまず、学校に父母懇自体がある学校が3校という事実には驚きました。その中でどのように盛り上げていくか試行錯誤されているので、すごいなあと感じました。また私の悩みが甘いものだと実感しました。
- ・新聞で、宮城県の助成金が増やされた話を見て、良かったなと思っていました。しかし、実質その中の2.5%の子供達しか恩恵を受けていないと聞き、県はそれを分かって、620万を決めたの？と思ってしまいました。また、東北5県の中でも助成金の金額がとても低いと聞きました。子供達の学びの拡充のため、620万の裾野を広げるべく、ブロックキャラバン宮城がんばってください。
- ・愛知の後藤さんのレポートでは「第三の場所」と言うものが誰にでも必要なのだな…ということでした。何でもかんでも自分一人では解決できるものではない。周りに頼っても大丈夫なのだと思います。
- ・岩手のレポートでは、学費の滞納率などを見て心が痛みました。高校を卒業できることは、その後の人生において大きな意味を持つてくると思います。私学助成が本当に必要だということを感じました。私がPTAで私学助成委員をしている学校も生徒や先生方はとても勉強していて、古くから活発に活動していますが、コロナ禍の影響もあり、今、保護者の皆さんに私学助成の重要性をお伝えする場がないことが残念です。また活動を盛り上げていけるよう、皆さんの取り組みを参考にさせて頂きたいと思いました。
- ・佐賀の古賀さんの話をきいて、私と同じ気持ちだ～私がすすめる会に参加をしたはじめての気持ちに戻りました😭子供たちの声に私自身は動かされて何か出来ないかから今にいたります。これからも先生方のお力をおかりしながら活動をしていきます
- ・山形は父母による活動で県知事にまでお会いできたり、地道に活動を続け後に繋いで行くことが結果となる!!ということが心に残りました。愛知では書面にして知らせ続けること、生徒1人1人にも関心が持てるようになる、等々公立高校には無い、生徒の個性を見る!!ということに心打たれました。